

令和
2年度

松江市原子力防災訓練を実施します

Matsue City Nuclear emergency drill

実施日：10月28^(水)日 31^(土)日



市では、島根原子力発電所における原子力災害の発生に備え、松江市地域防災計画（原子力災害対策編）や、松江市原子力災害広域避難計画を策定し、原子力防災訓練を通じて、継続的に計画の実効性を高めていくこととしています。

28日

- ◇防災業務関係者による発電所事故発生時の初動対応の訓練
- ◇市長を本部長とする災害対策本部の設置運営訓練・市全域の関係機関などへの情報伝達訓練

31日

- ◇PAZ（原子力発電所からおおむね5km圏内）の地区のうち、鹿島地区を対象とした避難措置等訓練（避難指示の広報を受け、一時集結所へ集まる訓練です。）
- ◇UPZ（PAZを除く松江市全域）の地区の屋内退避訓練（全面緊急事態の発生による屋内退避指示を受け、自宅での屋内退避を行う。屋内退避について、詳しくは裏面をご覧ください。）

ここがポイント



今年度の訓練では新型コロナウイルス感染症の流行状況を背景に、原子力災害時におけるさまざまな手順について感染症対応を踏まえた観点から確認します。

- ◇訓練に合わせて、防災メール、ホームページ、ケーブルテレビや防災行政無線（屋内告知端末、屋外スピーカー）、広報車などを使用した広報訓練を行います。

28日と31日に**緊急速報(エリア)メール**を配信します。

(午前11時ごろ) (午後3時ごろ)



配信範囲

配信時に、松江市にいる人の携帯電話、スマートフォンなど



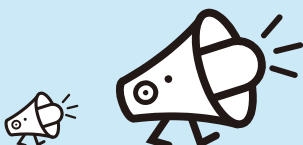
実際の避難などの行動は必要ありません。

※受信対応機種や受信設定などについては、各種携帯電話会社のホームページなどでご確認ください。

※電源が入っていない場合、通話中の場合（一部受信する機種もあります）、圏外の場合、携帯電話がサービスに対応していない場合などは受信できません。

皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

※災害発生などの恐れがある場合は、訓練を中止します。中止の場合は、防災メール、ホームページなどによりお知らせします。



【問い合わせ】原子力安全対策課

☎55-5616

原子力広報 松江市

● もっと知りたい屋内退避 やっていきましょう屋内退避 ●

Let's Try!

10月31日(土)には屋内退避訓練を実施します。緊急速報(エリア)メールを受信したら、下のチェックリストに従って実際に屋内退避を体験してみませんか?

屋内退避チェックリスト

- | | |
|--|---|
| ☐ あわてないで建物の中に入る。 | ☐ テレビやラジオ、防災メールなどから発信される情報を入手する。 |
| ☐ 外から帰ってきたら手洗い、うがいをする。 | ☐ 窓などに隙間がないか確認する。ある場合はガムテープなどで目張りする。 |
| ☐ 外気が入らないようにドアや窓を閉める。 | ☐ 避難に備え、非常時持ち出し品を準備する。(確認する。) |
| ☐ 換気扇など外気を取り込む設備を止める。* | ☐ ペットは屋内に入れる。 |
| ☐ 食品はフタやラップをして、冷蔵庫や戸棚に保管する。 | |

*感染症が流行している状況において自宅などで屋内退避を行う場合には、放射性物質による被ばくを避けることを優先し、屋内退避指示が出されている間は原則換気を行いません。

屋内退避とは、放射線による被ばくの影響を低減させるため、自宅などの屋内に留まる事です。建物には、一定量の放射線をさえぎる効果や、放射性物質※を体内へ取り込むことを防ぐ効果が期待できるので、被ばくを抑えることができます。



屋内退避のここがギモン

Q 屋内退避するより早く遠くに逃げた方がいいのでは?

A 車両は屋内退避よりも遮へい(放射線をさえぎる)効果は小さくなります。渋滞などにより避難に時間がかかってしまうと、かえって被ばく量が増えてしまう恐れがあるので、屋内退避が有効です。国、県、市からの指示をよく聞いて、落ち着いて行動しましょう。

Q 古い木造住宅に住んでいて隙間だらけです。屋内退避に意味はあるのでしょうか?

A 屋内退避することで吸入による内部被ばく※を、木造家屋においては4分の1程度、気密性の高いコンクリート建屋のような施設においては20分の1程度に抑えることができると言われています。隙間はできるだけふさぐようにして、外気を取り込まないようにしましょう。ドアや窓を閉める、窓から離れて過ごすなどの工夫をすることが被ばく量を減らすことにつながります。

用語解説

放射性物質・・・放射線を出す物質のこと。地球の誕生時から自然界に存在していたり宇宙から飛んで来る天然のものと、原子炉などで人工的に作られるものがある。それらから出る放射線の性質は、放射線の種類とエネルギーによって決まり、天然のものか人工のものかによる違いはない。

内部被ばく・・・放射性物質を呼吸によって吸い込んだり、放射性物質を含んだ飲食物を食べたり飲んだりして体内に取り込むことにより、体の内部から放射線を受けること。

●市の取り組みや広域避難計画については、市ホームページをご覧ください。
〈松江市ホームページ〉

